

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年12月11日

計画の名称	岡崎市事前復興まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡崎市												
計画の目標	<p>本市は東海地震に係る地震防災対策強化地域及び南海トラフに係る地震防災対策推進地域に指定されており、ライフラインの断絶、人的被害など甚大な地震被害の発生が危惧されている。</p> <p>平成24年8月に内閣府が発表した南海トラフの巨大地震による被害想定から最大震度が7と示されるなど、さらなる防災対策の推進が急務となる中、本市では防災都市づくり計画の策定により防災・減災を明確に意識した都市づくりを位置付け、自助・共助・公助の役割分担のもとに市民と行政が一体となって「災害に強い空間づくり」と「災害時の避難や応急活動を支える空間づくり」を推進してきた。</p> <p>今回の計画では、平成26年度に実施した災害危険度判定調査によって災害危険度が高いと判明している地域において、被災後の速やかな復興に備えるための事前復興まちづくり計画を策定すると共に、事前に復興まちづくりのイメージを地域と共有することで、災害に強く早期回復ができる都市づくりを目指す。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	49	A	49	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R6当初)	中間目標値 (R8末)	最終目標値 (R10末)
1	都市復興における合意形成を円滑にするため事前に地域と復興方針を共有し、復興まちづくりに対する理解率を高める。 復興まちづくりに対する各地域の理解率： (復興方針を理解した防災委員の人数) / (復興方針の説明を受けた防災委員の人数)	0%	70%	70%

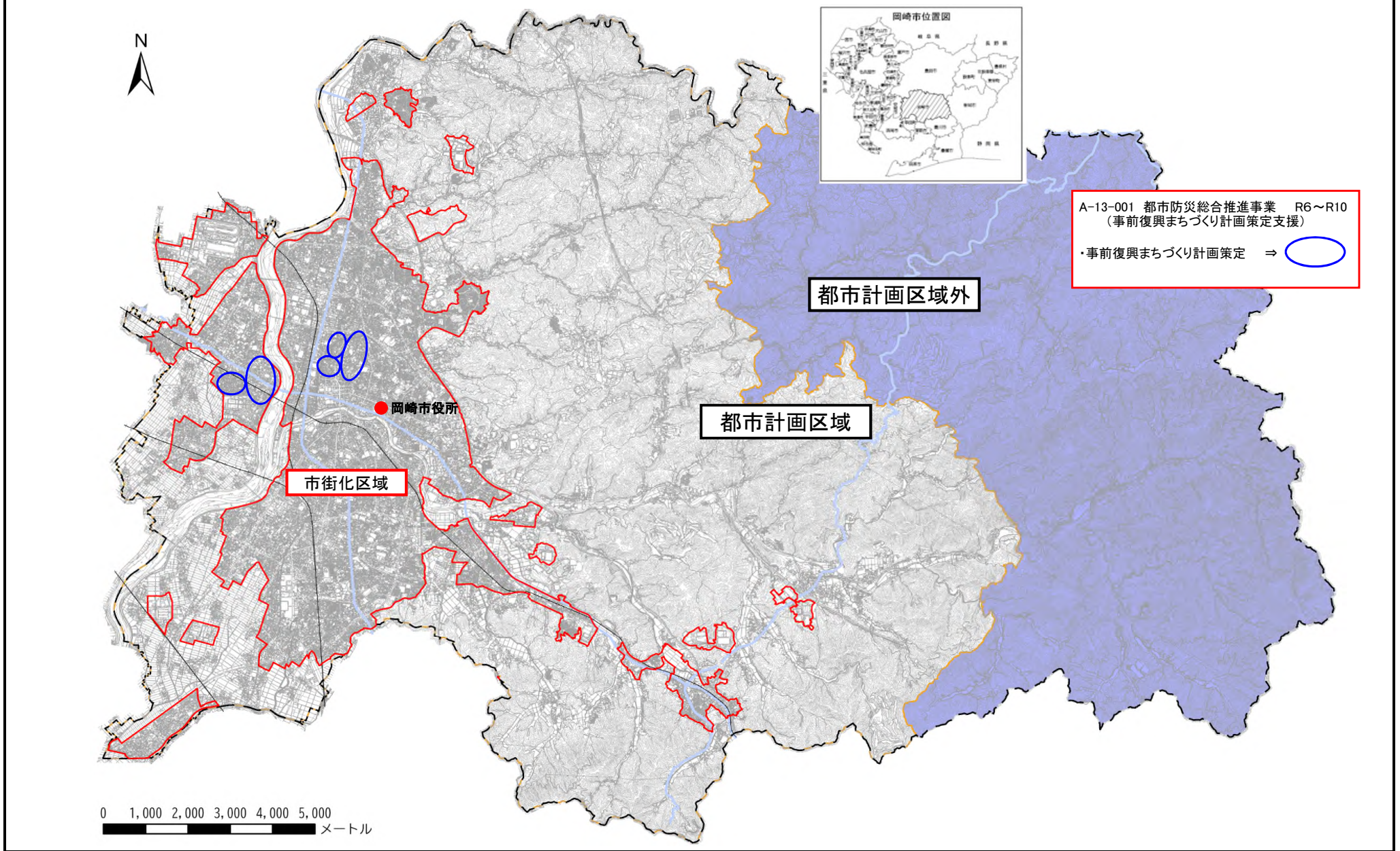
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	事前復興まちづくり計画 策定支援	事前復興まちづくり計画策定 5地区	岡崎市						49	-	
												小計						49	
											合計						49		

(参考様式3) (参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	岡崎市事前復興まちづくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	令和6年度 ~ 令和10年度 (5年間)	交付対象	岡崎市



# 事前評価チェックシート

計画の名称： 岡崎市事前復興まちづくりの推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○